

### 3.5 NAL (国立農学図書館) の動向

独立行政法人農業環境技術研究所 広報情報室 福田 直美 (ふくだ なおみ)

#### (1) NAL の概要

国立農学図書館 (National Agricultural Library : NAL) は 1862 年に設立、1962 年に正式に国立図書館となり、現在は米国農務省 (United States Department of Agriculture : USDA) で研究所を束ねる “Agriculture Research Service (ARS)” のもとにあり、主に農業・農学関係の図書資料類の収集・提供、および農学情報 (論文情報等) のデータベース (AGRICOLA) の作成・提供を、米国農務省職員・農業者・学生・図書館・一般を対象に行っている。設立当初より、米国において農業が大きな基幹産業と位置づけられている背景を反映しているといえる。なお、所蔵コレクションには図書資料以外にも、過去実施していた遺産資源に関する資料や、原稿類などのコレクションなどがある。

農学のさらに細分化した分野の情報については、独立性の高い 8 つの専門情報センターを擁しており、NAL 本体では文献情報を中心に、学術・農業データはこの専門情報センターが担っている。この専門情報センターは、重要性に応じ随時改廃される。

AGRICOLA は 1970 年より構築されている農学・生命科学分野の論文データベースとして米国内外の研究者の利用に供されていることは周知の事実である。

1994 年には、すでに電子図書館構想が打ち出され、電子体情報をいかに有機的に利用・提供できるかの模索と、各種資料のデジタル化技術 (スキニング、OCR など)・検索システムなどの開発が行われ、利用に供されていたところである。

この技術開発は、NAL の所蔵する各種コレクション (動植物・作物等の図版・写真、カタログ、原稿など) に生かされ、特殊コレクションとして WEB 上で提供されている。また、2001 年より、専門情報センターが構築・提供する DB や NAL で契約のオンラインジャーナル・新聞・“BIOSIS” や CAB などのデータベースを横断検索・利用のできるシステム “DigiTop” を構築、試験運用を開始し現在に至っている (USDA 内の利用)。

#### (2) NDLA 実現に向けて

2000-2002 年のレポートに「農業・農学のための国立電子図書館 (National Digital Library for Agriculture : NDLA) を目標とすること」が報告されているが、前述のように 1994 年以前に電子図書館構想が打ち出されていた。当時は電子掲示板などの運用が行われていたようである。

各種のデータベースやオンラインジャーナルなどのデジタルコンテンツについては DigiTop で、NAL 所蔵の特殊コレクションのデジタル化したコンテンツもすでに WEB 上での提供がなされている現在、これらデジタルデータの長期的な保持・利用が重要となっている。また、関連機関の保有するデジタルコンテンツをいかに有機的なネットワークのもと、統合的に利用提供できるようにするかも今後の重要課題といえる。

すでに、(1)“Voyager Integrated Library System (ILS)” の導入：米国議会図書館、米国医学図書館を含む世界 600 以上の図書館とのネットワークの実現、(2)“AgNIC (Agriculture Network Information Center)”：農業関連図書館 (学会・大学・研究機関など現在 49 の図書館が参加) とのネットワークに 8 つの専門情報センターとともに参加 (National Invasive Species Information Center は 2007 年 1 月に参加が承認された) しており、デジタルコンテンツを有機的に提供する土台は固まったといえる。

これらの背景の下、NDLA については、2006 年に具体的計画のための各種会議が開催され、2007 年度連邦予算が申請されており実現へ向けてのスタートが切られている。

Ref :

Agriculture Network Information Center. “National Invasive Species Information Center (NISIC) Join AgNIC”. <http://www.agnic.org/partners/nal/news/national-invasive-species-information-center-nisic-joins-agnic>, (accessed 2007-02-05).

Agriculture Network Information Center. “Partners”. <http://www.agnic.org/partners/index.html>, (accessed 2007-02-05).

National Agricultural Library. “About NAL: National Agricultural Library Information Centers”. <http://www.nal.usda.gov/about/index.shtml>, (accessed 2007-02-05).

National Agricultural Library. “Information Centers”. <http://www.nal.usda.gov/infoctr.shtml>, (accessed 2007-02-05).

National Agricultural Library. “NAL Collections”. <http://www.nal>.

※本稿は、国立国会図書館の 2006 年度調査研究事業の成果物である。

- usda.gov/collections/, (accessed 2007-02-05).
- 長塚隆. 米国の国立農学図書館訪問記. 日本農学図書館協議会誌. 2005, (137), p.1-4.
- 長塚隆. 講演記録: 第4回鶴見大学デジタルライブラリー国際セミナー「デジタル時代の米国国立農学図書館のあり方」. 日本農学図書館協議会誌. 2006, (143), p.6-12.
- [北村實彬]. 米国農務省における研究と技術移転の現状. 農林水産技術会議事務局研究管理官・開発官室, 1994, p.9-19.
- 福田直美. Hello, and Short Good-bye: 米国国立農学図書館などか  
けある記. 日本農学図書館協議会誌. 2005, (135), p.10-14.